

明治大学校友会 東京都多摩支部

多摩市地域支部



紫紺

(第6号)

発行 明治大学校友会東京都多摩支部多摩市地域支部 発行日 平成28年2月1日
発行人 岩淵義郎 住所 多摩市愛宕2-2-4-303 Tel/Fax 042-356-2577

新年会開催

平成28年1月16日(土)13時より京王クラブ(多摩市関戸二丁目)2階ホールにおいて会員24名参加のもと多摩市地域支部新年会が開催された。

藤川幹事長が司会進行に当たり、始めに岩淵支部長より「明けましておめでとうございます。今日はご多忙中新年会に多数のご参加をいただき、また日ごろから地域支部の活動にご協力いただき有り難うございます。今年は申年、私は年男になります。本日出席の方のみならず、全会員の皆様のご健勝と弥栄をご祈念申し上げます。」との挨拶があった。

この後、安波副支部長の音頭で乾杯、暫時懇談後、藤川幹事長から初参加の坂本・石場両会員の紹介。続いて恒例となったビンゴ大会、カラオケ大会等で新年会が盛り上がった。最後に中山副支部長による中締め、藤川幹事長指揮による校歌斉唱、菊池副支部長による「多摩市地域支部」万歳三唱、藤川幹事長の閉会挨拶

撈をもつてお開きとなった。



※新年会に先立って、第4回役員会が開催され「第3回定時総会」を平成28年5月21日(土)に開催することとなった。詳細は別途通知します。

平成27年度下期活動

- 一、読売新聞中河原工場見学
 - 日時：2月22日(月)10時半
 - 集合：中河原駅改札口
 - 見学後懇親会(会費3千円)

二、カラオケ「紫紺の会」

毎月、楽しく開催♪

のど自慢の方も苦手の方も、お茶ビールでのどを湿らせて、「カラオケ」を楽しむことのできる、親睦交流の場です。多数のご参加をお待ちしております。

- ・日時：原則 毎月最終土曜日
- ・午後3時30分～6時15分
- ・次回3月5日(土)
- ・場所：ひじり館2F和室
- ・会費：500円

参加申込は寺島忠昭(S 41経営)まで

三、第七回地域支部対抗

デイスクゴルフ大会

- ・日時：3月26日(土)
- ・場所：昭和記念公園西立川口
- ・終了後懇親会(会費3千円)

*詳細は追って連絡します。

明治大学校友会多摩支部
第12回定時総会報告

矢場 岩男(S 43商)

明治大学校友会多摩支部第12回定時総会が6月27日(土)立川グランドホテルにて開催された。

今回の定時総会には多摩市、八王子府中、町田、日野の5地域支部が担当となり、岩淵支部長、藤川幹事長、伊東・矢場両幹事が出席して4回にわたる「実行委員会担当会議」が行われた。

定時総会・懇親会には当地域支部から過去最大の10名が参加し、総



多摩市地域支部の皆さん

勢で26名。福宮賢一明治大学学長や関根紘一校友会副会長、東京都東西南北各支部長等のご臨席を頂き盛大に開催された。

第一部・総会では我が地域支部岩永久佳幹事が総合同司会(アシスタント伊東勝義幹事)を務め、重要案件である役員改選や多摩支部会則改訂議案が提案通り可決され、西山強支部長、柳沢正長幹事長の新体制が誕生した。

第二部・アトラクションは我が地域支部藤川忠博幹事長がMCを務め「明治大学グリークラブ」の素晴らしいハーモニーで「見上げてごらん夜の星を」などの名曲を披露し、万雷の喝采を浴びた。

第三部・懇親会では昨年大好評であった「明大節」の演武が演じられた。

終盤には肩組み合つての「明治大学校歌」斉唱。引き続き「明治大学万歳」・「校友会多摩支部万歳」湧きに湧いてのお開きとなった。

実行委員会担当会議が奏功し、準備万端そつなく運営された。地域支部別出席者数は町田地域支部の22名が最大で、今後我が支部も参加者を増やしていきたい。

平成27年度
上期活動報告

一、新宿「末広亭」

寄席鑑賞会

國分篤(S 46商)

8月8日(土)、新宿「末広亭」寄席鑑賞会に参加しました。

木造建築の末広亭、2階の軒下には提灯、1階軒下には出演者名が書かれた大きな木札、正面横にはのぼり旗、中に入ると左右には棧敷席。この造りに江戸の寄席や見世物小屋の名残を感じます。

今回は12時〜16時半の「昼の部」の鑑賞でした。前座の落語が始まり、途中に15分程の中入り(休憩)を挟んで落語が13席。その合間に漫才・俗曲・紙切り・物まね・曲



芸・曲こまの「色物(いろもの)」「寄席で講談・落語に対して、彩として演じられる芸」が入りました。

落語は古典も新作も演じられ、それぞれに味わいがあり、色物では聞き入ったり目を見張ったり。

そして、トリは林家正蔵、左甚五郎が登場する「ねずみ」をじっくり聞かせてくれました。

寄席の後は、南新宿の居酒屋「美禄亭」で懇親会。古き良き時代の日本家屋を彷彿させる内装のお店で、美酒・美食を味わいながら落語談義諸々に花を咲かせました。

今回の参加者は10名、日本の演芸・食を楽しんだ一日でした。

二、青梅観光

茂木 有司(S 43商)

9月12日(土)に「地域支部間ふれあい企画」として日野地域支部と合同で「青梅と小澤酒造 酒蔵見学」日帰りバス旅行に参加しました。同窓ということ、かつ幹事の方の気遣いもありすぐ和気あいあいとなりました。

青梅到着後、まず「小澤酒造」で酒蔵見学及び「澤乃井」利き酒。その後「おくだま路」で昼食。午後は「玉堂

美術館」、「櫛かんざし美術館」、そして「青梅きもの美術館」を見学しました。

酒蔵見学では淡麗辛口の日本酒を味わい、玉堂美術館では日本画

の美しさと奥深さを見て、後の2美術館では日本の歴史と繊細さの美しさに感心をして帰ってきました。

また青梅市街名物の昔の映画ポスターも懐かしさをおぼえました。青梅の地域支部の方にもお世話になり、普段行こうと思っけていても機会を逃していることを考えると良い企画だったと思えました。

日野地域支部の方と話がはずみ意見交換も出来ました。

三、東京競馬場見学会

矢場 岩男(S 43商)

10月10日(土)府中地域支部企画「東京競馬場貴賓室見学会」に当地域支部から6名参加した。10時30分競馬場入場にて中島府中地域



小澤酒造で講習

支部幹事長に案内され、先ず受付で入場チケット、エレベーターで貴賓室へ。

貴賓室では正装がルール。豪華な廊下を通り貴賓室到着。貴賓室には歴代のダービー馬の名前が架かっている。部屋は広くテーブルには馬券を買うためのマークシートと競馬新聞が置いてある。また、部屋の前の観覧席から競馬場全体を見ることが出来る。

廊下に出ると即馬券発券所(手売り・自販機共)がある。会費は「昼食代+飲み放題」に加えて他地域支部からの美味しい大吟醸の差し入れもあり、飲むは賭けるのは大忙し！勝負の方は「トントン」と言っているものによく聞いてみると矢張り損した方が多いかも。小生は若干負け越したが、負けた悔しさが一向に湧いてこない

この金に換えられない体験をさせて頂いた府中地域支部に乾杯！

帰路の途次焼き鳥屋で一杯。何はともあれ全てに感謝、乾杯し解散。



四、江戸アートミュージアム見学と江戸川競艇観戦

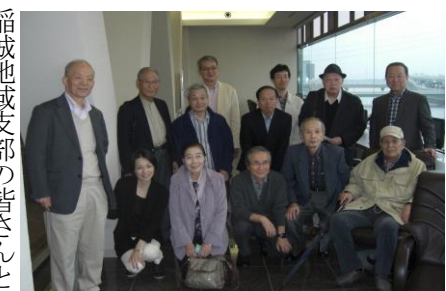
岩永 久佳(H 18ガバナンス)

10月16日(金)、昨年に引き続き2回目の実施となりました。江戸川競艇場でのボートレースは多摩市、稲城市、あきる野市の3市の主催になつてのことから、今年も稲城地域支部にも声かけし、3名の参加をいただきました。ボートレース観戦が初めての参加者もあり、舟券の購入に戸惑う姿も・・・。

ボートレースは5艇での競走とは言え、順位の予想はやっぱり難しい。悲喜こもごも・・・というよりも、なかなか晴れやかな笑顔になれないままレース終了という参加者の方が多かったかもしれません。人生と同じく、そうそう簡単にいくものではない・・・手ごわいことを大いに学んで帰路につきました。

それでも校友のみなさんで一緒に、特製ランチをいただいで懇親を深められるひとときに笑顔いっぱい。稲城地域支部のみなさまとの親交も深めることができてよかったです。また、今年も江戸川競艇場内にあるアートミュージアムも見学しました。

だが、昨年よりも若干コレクションが増え、楽しませてもらいました。



稲城地域支部の皆さんと

さあ、ボートレースにチャレンジしたい校友の皆さん！もちろんリベンジしたいと燃えている皆さま！ぜひまたご一緒にしましょう。

五、明治大学黒川農場見学記

中山 雅雄(S 37法)

11月7日(土)黒川農場の第4回収穫祭に合わせ、多摩市地域支部11名が農場見学を行いました。

当日は、最寄りの小田急線黒川駅に集合し、送迎のマイクロバスで農場へ向かいました。既に多くの人たちが収穫祭に来ておられ、大変混雑しておりました。

この黒川農場は、既存の農場(富士吉田、菅田)を機能統合し拡充のために設置されたもので、平成24年4月に開所した真新しい施設で、その規模は総面積が約12ヘクタール、

大教室での聴講



温室7棟など約8千㎡という壮大な規模であります。

その農場の目的には「農場に関する実習その他の学生教育を行い、農場を活用した研究の推進を図るとともに、その成果を社会に還元することを目的とする」と謳われており、この目的達成のため基本コンセプトとして、環境共生、自然共生、地域共生の3つの共生が定められています。

私たちは到着後すぐに木造ハイブリット構造の本館内大教室で開催された記念講演「里山のおはなし」(講師佐倉特任教授)を古き学生に気分で見聞に聴講し、その後学生による黒川農場ガイドツアーをお願いして、木質ペレット利用、水耕栽培

露地圃場
農場約
1.4ヘクタ
ール、里
山・雑木
林6.4ヘ
クタール、
総建築面
積は、本
館、アカ
デミー棟、

IT栽培などの産学共同研究の紹介など農場全体の概要を見分し、その素晴らしさに驚きと驚嘆しっぱなしでありました。

その後本館前での収穫された野菜などの即売会で新鮮な見事な野菜を両手いっぱい買い求め、帰路につきました。期待される未来型の農業の一端をおおいに学ばせて頂いた楽しい見学でした。

この見学会が校友会の定例行事として今後も行われ、今回参加されなかった方々もぜひ次回の収穫祭に参加していただきたいと思いつながら黒川農場を後にしました。
その後京王永山駅の居酒屋で本日の有意義な見学を肴に乾杯をし、楽しい1日を堪能しました。

六、「明大マンドリン倶楽部

コンサート」開催

伊東 勝義(S 35 商)

第13回「明大マンドリン倶楽部府中演奏会」が、多摩市地域支部、府中地域支部との共催で、11月29日(日)、府中の森芸術劇場で開催されました。

当日は12時30分頃より待ちかねたお客様が詰め掛け、開場時間まで

に劇場の外まで長蛇の列となりました。午後2時石阪府中地域支部長の挨拶に続いて明治大学校歌でオープニング。

第1部は根強い人気の古賀メロデー、青春を彩ったアイドルメロデー、常任指揮者甲斐先生の作曲による、津軽組曲より「夏」が奏でられ、特に甲斐先生の編曲の素晴らしさが心に響きました。

第2部は民謡界の大御所、原田直之氏をゲスト歌手として迎え、マンドリンと民謡のコラボが会場を魅了、1曲毎に原田歌手のトークが入り、これに甲斐先生も加わり楽しいステ



ージが展開されました。

第3部は「ザッツミュージック」と題し、マンドリン倶楽部が得意とするイージーリスニング・ラテン・タンゴ等、世界の名曲演奏が会場を大いに盛り上げました。

最後にアンコール曲2曲を熱演、客席・演奏者・実行委員が一体となったコンサートは、ご来場の皆様にご堪能頂き、好評の内に終了しました。

因みにアンコール曲を含め31曲、3時間弱の演奏時間は、今までほとんど無かったのではないのでしょうか。そして「良かった良かった」と笑顔でお帰りになるお客様をお見送りした後、甲斐先生、原田歌手、学生を囲んで、実行委員との打ち上げ会が行われ、皆大満足で祝杯をあげました。

今回の演奏会は当地域支部としては初めての経験。ノウハウもデータもなく、しかも会場が府中でしたので、集客は非常に厳しい状況でした。しかしながら実行委員(役員)の販売努力、新聞販売店のチラシ協力の、20箇所及ぶ市関連施設へのチラシ設置等により、2千名収容の劇場1階をほぼ満席に出来た事でホッと胸を撫でおろしました。

七、明早戦ラグビー観戦記

秋山 隆敬(S 43 法)

12月6日(日)、好天に恵まれた秩父宮ラグビー場で行われた明早戦ラグビーを観戦。我が校友会多摩市地域支部からは16名のメンバーが参加しました。

満員の大観衆で埋まった伝統の一戦。明治は前半10分にペナルティゴールで先制。その後2トライをあげ22・12で前半戦を終えました。

後半も明大がトライで先行、今年はこのまますんなりいくのかなと思いましたが、早大に追い上げられ、一進一退の攻防を繰り返すことになり、最後は自陣のゴール前で早大の猛攻にどうにか耐え32・24でノーサイド。6勝1敗の帝京大と並んで3年ぶりに対抗戦優勝を果たしました。

久しぶりに紫紺の旗のもと、選手・観客が一体となって歓喜に酔いました。



会員活動便り

寺島 忠昭(S 41 経営)

8月21日(金)、明治大学校友会多摩市地域支部主催「永山公民館・市民企画講座」を開催。昨年春の役員会・事業計画会議で企画部の伊東勝義さんと共同提案。全役員の賛同の下、開催の運びとなりました。

主催・開催の主目的は地域貢献活動を通して会員の拡大を図ることです。講座のタイトルは「芝居と映画で知る江戸時代から戦後までの庶民の生活と風俗」で、講師は森章二氏(新国劇・映画・テレビ舞台俳優、ラジオ声優、時代劇演技指導・時代考証、江戸文化の語り部)。江戸時代から終戦までの345年間の庶民の生活を知り、先人の知恵を学ぶことに意義を求めました。

戦後すっかりアメリカナイズされた日本。しかし、265年続いた江戸時代の文化・風俗・習慣・気質は今でもわずかながらも残っている。この良き日本精神文化・伝統を次世代・後世に残す責務が私たちにあるのではないでしょうか? 赤坂生まれの講師によれば、明治・大正、そして昭

和20年の終戦直後までは江戸文化が沢山残っていたそうです。このわずかながらも残っている火種を絶やさないために機会があればこの講演活動を続けていきたいとのこと。

講演内容は長い年月にわたっている為、かなり難しく、講師と度々お会いして内容の打合せを重ねました。その時に聞いた話しは非常におもしろく、講演で語って頂きたかったが、公共の場なので叶わず残念。

しかし、当日の映画界最盛期の話しは興味深く面白かった。例えば、撮影所では連日の深夜撮影。疲労・眠り防止の為、スタッフも俳優もヒロポンを打って頑張ったそうで、当時は合法で現在の栄養ドリンク剤と同じように販売されていたとか。ちなみに森講師は一回も打たなかったそうです、念のため。



講演を聴講する参加者

また、寒空の深夜撮影のエキストラへの扱いは悪く、屋外に長時間立たせて待たせていたそうですが、ヒロ

ポン、エキストラの話にはとても驚きました。

受講者は定員オーバーの大盛況。全体の講座の内容も、参加者アンケートで高い評価を頂きました。何よりも公民館担当者から次年度の開催を求められました。大成功!!

趣味

水彩画を描く(シリーズ③)

中山 雅雄(S 37 法)

趣味でNHK文化センター八王子教室「楽しく描く水彩画」教室に入り8年続いております。



〈寒中洋蘭〉

雪の中の緑が美しく力強さを感じた

ホームページ開設から
八ヶ月を経て

杉山 喬(S45工)

当地域支部ホームページ(以下HP)を昨年6月に開設しました。

多摩支部傘下21地域支部の中でHP開設は5地域支部に止まっており、まだまだその活用は少ないのが現状です。

当地域支部は間もなく結成4年目を迎え、行事活動はますます活発化しておりますが、このような状況の中で多くの会員の皆さまにご参加をいただく方法は何かを考えたときHPの活用です。ただし、会員の中心にはHPを見る環境のない方も多くおられますので、HPを開設したからと言って全ての会員が情報共有できる訳ではありません。よって、これから従来の情報伝達と併用しながら、HPを最大限に活かしていきたいと思えます。

HPをより一層充実・有意義なものに育てるため、皆様のご意見ご感想をお寄せいただきますようお願いいたします。

多摩市地域支部ホームページ

<http://meijikoyu-tamashijindo.com/>

会員の動静

(順不同・敬称略)

新入会者

諏訪本充弘(S50文・藤原輝雄(S41工)
大田原次清(S29商) 中山厲介(S43文)
田所利之(S50工) 石場和夫(S45商)
関 道定 (S48政経)

退会者

及川司(S38法)氏が逝去されました。
衷心よりお悔やみ申し上げます。
福室陽一(S39工) 残念ながら一身上の都合により退会されました。

会員数93名(平成28年1月現在)
会員相互の動静もお知らせください。

<会費納入のお願い>

未納の方は同封の振込用紙にて
お支払をお願い致します。

<会費受領会員>

(50音順・敬称略)

相澤 慶太	小金 忠男	平樂 直樹	藤川 道子
秋山 隆敬	國分 篤	高橋 三郎	藤原 輝雄
飯塚 貴哉	小竹 唯夫	高橋 伸二	松澤 節夫
石場 和夫	斉藤 康夫	高山千佳歳	松本 邦彦
伊東 勝義	坂井 靖三	谷 幸雄	萬井 洋一
今村 隆正	榊 つきみ	塚本 一雄	峯岸 正己
岩永 久佳	坂口 直	鶴田 勇雄	村木 繁之
岩渕 義郎	坂本 康彦	寺島 忠昭	村山 芳雄
楳田 成美	鳴原 昭夫	長嶋 彰	室田 修
大倉 徹	島崎 昭	長島 守男	茂木 有司
大澤 義文	新城 敏男	仲野 道子	森 和子
大田原次清	新谷 晶子	中山 雅雄	安波 節生
岡 等	菅井美沙子	中山 厲介	矢場 岩男
岡崎 軍三	杉田 誠	鍋田 正直	山口 和英
小篠 正慶	杉田 正男	西川 克子	山崎 直人
金井 希介	杉山 喬	新田 輝吉	山下 憲男
菊田 正俊	須藤 忠志	野村 文夫	山田 隆英
菊池 武信	諏訪本充弘	野村 光芳	横山 成明
清井 敏秀	関 道定	福地 登	吉原登喜子
熊谷 和彦	芹沢 壮光	藤川 忠博	和久田國修

H28/02/20 現在

<ご寄付>

ありがとうございました
(50音順・敬称略)

秋山 隆敬	杉山 喬
伊東 勝義	高橋 三郎
岩渕 義郎	鶴田 勇雄
楳田 成美	藤川 忠博
菊池 武信	茂木 有司
杉田 正男	矢場 岩男



編集後記
・紫紺への投稿をお願いします。
・当地域支部及び他地域支部企画への多数のご参加を待っています。
・今年の冬は暖冬でありながら大雪。咲き始めた梅が美しく、桜の開花が待ち遠しいですね。風邪など引かれませんかよう健康第一に!(や)

会員ギャラリー
自慢の一葉⑥



②タマシギ (ついておいで)
撮影者 矢場 岩男 (S43商)



①夕照の山稜 (中央アルプス 中岳)
撮影者 鶴田 勇雄 (S37法)